

全郡研究発表会を振り返って ～全郡研究推進委員会～

八幡小学校 宮原 宣浩

本年度の「全郡研究発表会」は、一昨年8月開催から11月開催と時期を変えて実施されました。

全郡研究会の趣旨は、従来の通り「更埴地区の各校独自の創造性を生かした教育活動に学ぶ」ことです。各会場校が「自校らしさを発信する場」として、研究を推進し、授業や研修等を実施していただきました。どの会場でも充実した研修が行われ、大きな成果を収めることが出来ました。

それぞれの会場校の公開内容と成果を以下にまとめます。

**【上山田小学校】**

本校では、全校研究テーマを「友と学び合いながら『わかる』『できる』が実感できる授業の創造」として重点研究をスタートした。全職員による一人一公開授業を基本としながら、外国語活動部会と算数科部会に分かれ更に研究を深めていった。

当日は、4年1組 金沢優花教諭による「総合的な学習の時間」（外国語活動）と1年1組 森田茂教諭による「算数（かたちづくり）」の2つの授業を公開した。それぞれの授業公開では、子どもたちの意欲的な姿や子どもたち同士で関わりながら活動し合う姿が見られ、大変充実した公開の場となった。授業研究会では、参観していただいた先生方や指導者の先生方から様々な視点からのご意見や教材感を教えていただくことができた。研究会後のワークショップでは、本校の滝沢アイミー先生によるTPR（全身教授法）の研修を行い、充実した研修となった。先生方からのご意見を、今後の本校の研究に生かしていきたい。

**【八幡小学校】**

本校では「子どもの願いを深め、「わたしの問い」が生まれる授業作り～」を研究テーマに低中高学年の3部会を中心にして研究を進めてきた。学校のテーマをベースにしてそれぞれの学年でテーマを絞り込み、更に一人一公開授業を計画し研究を進めている。

当日は低学年グループでは2年松組 安藤葉子教諭が道徳授業「大なわとび」、中学年グループでは4年竹組 岡田芳宜教諭が社会科授業「和田郡平さんのことをもっと知ろう～きょう土の発展につくす」を公開した。どちらの授業でもあたたかい学級の雰囲気の中で自らの「問い」をもった子ども達が、活発な意見を交わす授業が行われた。研究会はラウンドテーブル方式を採用し、小グループの和やかな雰囲気の中で様々な角度から多くの意見が交わされ、とても充実したものとなった。本授業、研究会を通していただいた多くの意見を今後の研究、そして授業の充実へつなげていきたい。

### 【更埴西中学校】

本校では、平成 22 年度より「生徒の学習力を育てる授業づくり」を研究テーマに東京大学大学院市川伸一教授のご指導を受け、「教えて考えさせる授業」に取り組んでいる。当日は、社会科西澤千明先生が 2 年生「変化する諏訪盆地の工業」、音楽科柳澤あやめ先生が 2 年生「旋律が追いかけるように重なり合っていくおもしろさを味わおう」の授業を公開し、「教えて考えさせる授業」の実際について研修することができた。研究協議会では、市川教授から『習得での「主体的・対話的で深い学び」～「教えて考えさせる授業」を通して～』と題して講演をいただき、参加者全員が理解を深めた上で三面騒議法による授業研究会を行った。小グループに分かれての研究会では、付箋を利用して全員が意見交換することにより、校種や教科の専門性に関係なく活発な討論を行うことができた。学習形態の一つとして「教えて考えさせる授業」の取り組みを発表し、本校の実践に対してご意見をいただけるよい時間となった。

### 【長野県稲荷山養護学校】

今年度の公開では各小中高の具体的な研究からは離れて日常的な支援や工夫を見ていただくこととし、テーマを「稲荷山養護学校の支援の実際～できる状況への工夫と改善～」として公開を行った。

公開に当たっては、小中高のクラスや学年、保健室、支援室、寄宿舎などの日常的な実践を紹介した公開資料冊子を作成し配布した。これは図工作品の制作過程や生活単元学習での活動の説明、教具の紹介などが掲載されている資料で、後からじっくり読みたいというご意見もいただいた。

全体会では、本校の教育課程について説明を行ったことで、外からは分かりづらい本校での『ブロック』や『部』による活動の違いなどを動画も用いて紹介した。その後、本校支援室職員が「更埴地区の教育相談から」及び「特別支援 教材教具」をテーマに講演を行った。いずれも参加者から養護学校への理解が深まり、今後の指導・支援に役立つ話が聞けたと好評をいただいた。

今年度からの 11 月開催になったことで、小学校・中学校・養護学校それぞれの年間の計画に影響が出ることが懸念され、特に、準備期間の 9 月から 10 月にかけては、運動会や音楽会、文化祭など大きな行事があり、会場校の負担は小さいものではなかったと思われます。

今後も参加者、会場校共々に有意義な機会とするためにも「全郡研究発表会」の持ち方や時期については検討していく必要があると思われます。

最後に、会場校の先生方はもとより、各校代議員の先生方には多大なるご協力をいただき、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

(各校の概要部分は、各校の委員が作成)

#### 委員の構成

世話係	児玉 淳子 (更級小学校長)		
委員長	宮原 宣浩 (八幡小学校)	副委員長	小倉 敬 (稲荷山養護学校)
委員	小椋 信一 (上山田小学校)	委員	佐久間昌彦 (更埴西中学校)